中小企業・SDGｓビジネス支援事業
オンライン研修

バングラデシュ・ビジネスとJICAの協力

2026年7月6日
国際協力機構
バングラデシュ事務所
天田聖

バングラデシュ と日本 との比較

	バングラデシュ	日本
人口 （出典：World Population Prospects（2024）（国連））	1.74億人 （世界8位）	1.24億人 （世界12位）
面積	147,570k㎡ （世界94位）	377,915k㎡ （世界61位）
人口密度 （k㎡あたり） （出典：World Population Prospects（2024）（国連））	1,350人 （世界9位）	327人 （世界40位）
一人当たり国民所得 （出典：World Development Indicators（2024）（世界銀行））	2,820ドル （世界140位）	36,030ドル （世界29位）

本地図は国連作成地図を加工した。

バングラデシュの自然と社会

自然
- **世界最大のデルタ地帯に位置する「水の国」**
- 世界最大のマングローブの森（シュンドルボン：世界遺産）
- 世界最長の天然ビーチ（コックスバザール）

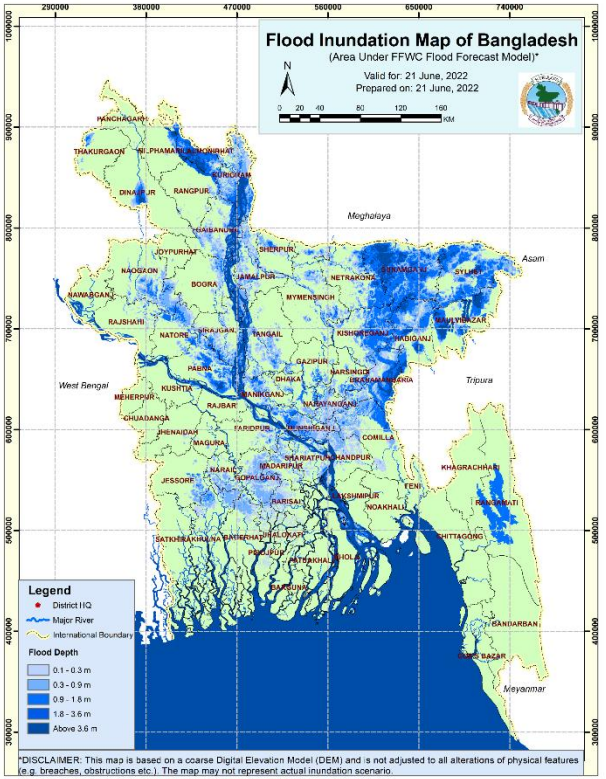
人物
- 詩聖タゴール（ノーベル文学賞受賞、アジア初）
- パール判事（東京裁判判事だった法学者）
- **ユヌス博士（ノーベル平和賞受賞、前暫定政権・首席顧問）**

食文化
- **米の一人当たり消費量は日本の3倍**
- 多種多様なカレー、スイーツ、フルーツ、魚

言語
- **ベンガル（バングラ）語に強い想い（パキスタンからの独立）**

宗教
- **穏健なイスラム教国。他の宗教へ寛容。**
- **インド亜大陸で最後まで仏教が残った地域と言われる。**

2022年6月洪水被害地域



日常のバングラデシュ料理

バングラデシュの魅力

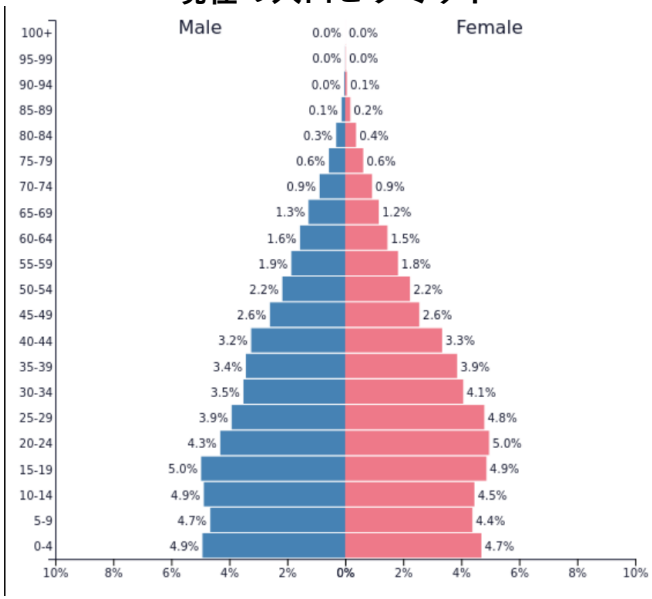
1．若年層が多い人口大国

人口：約1億7500万人（2025年）（世界第8位）
平均年齢：29歳
年齢の中央値：26歳
特徴：穏健なイスラム教、勤勉、女性の地位向上

2．経済発展

成長の加速化と安定的な高成長
→2030年にはトップ10の消費市場（英、独を抜く）
←生産年齢人口増大と世界第２位の縫製業。
債務持続性リスクは低い（公的債務残高約40%）

現在の人口ピラミッド

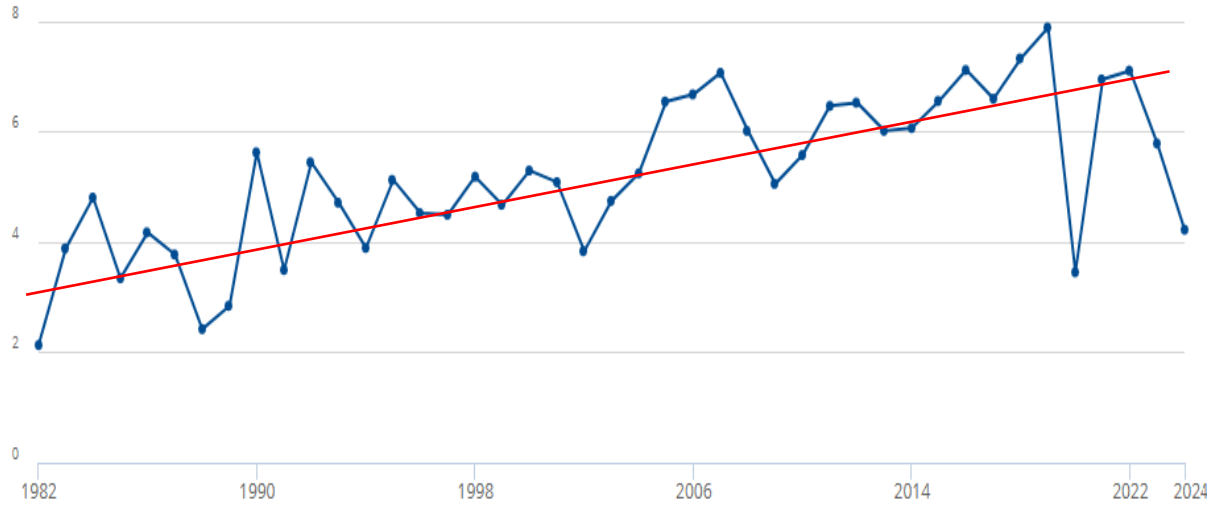


ジェンダーギャップ指数2025（世界経済フォーラム）

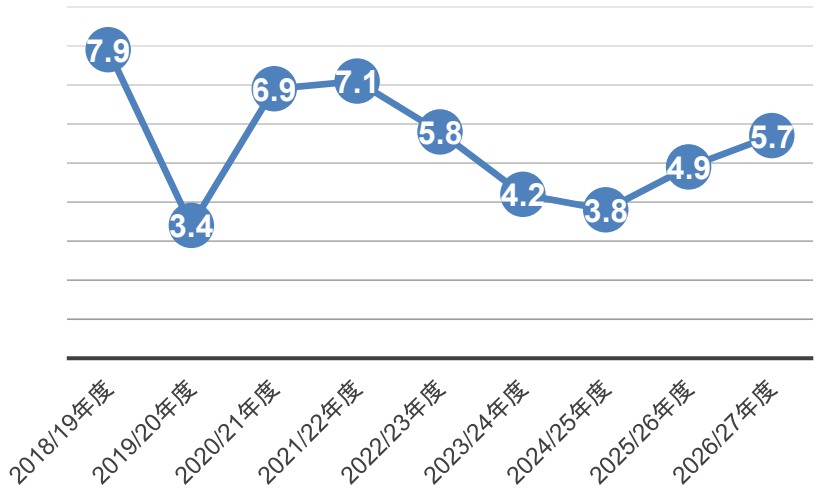
	順位
バングラデシュ	***24位***
日本	118位
ブータン	119位
ネパール	125位
スリランカ	130位
インド	131位
パキスタン	148位

バングラデシュの魅力

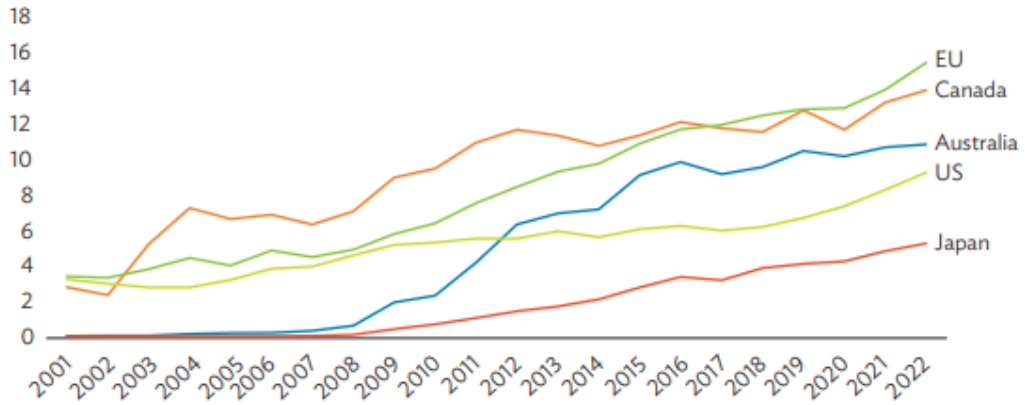
経済成長率の推移　（1980年代～現在）（世銀）



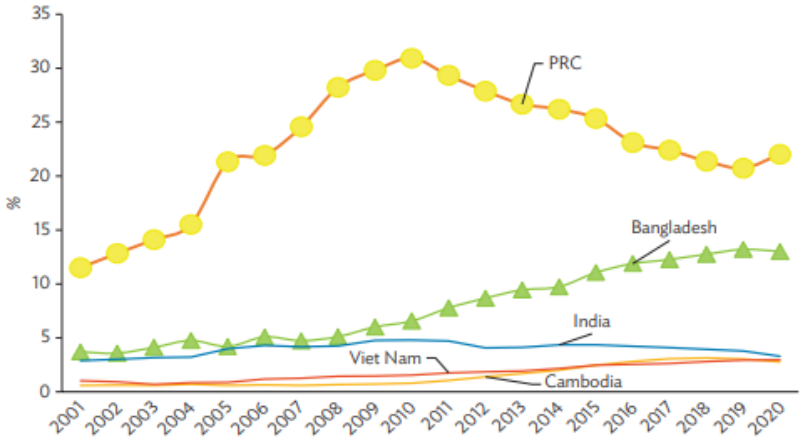
最近の経済成長率（見込みを含む）（IMF）



主要国・地域のアパレル市場におけるバングラデシュ製品のシェア（%）（ADB）



欧州市場における主要国製品のシェア（%）（ADB）



バングラデシュの魅力

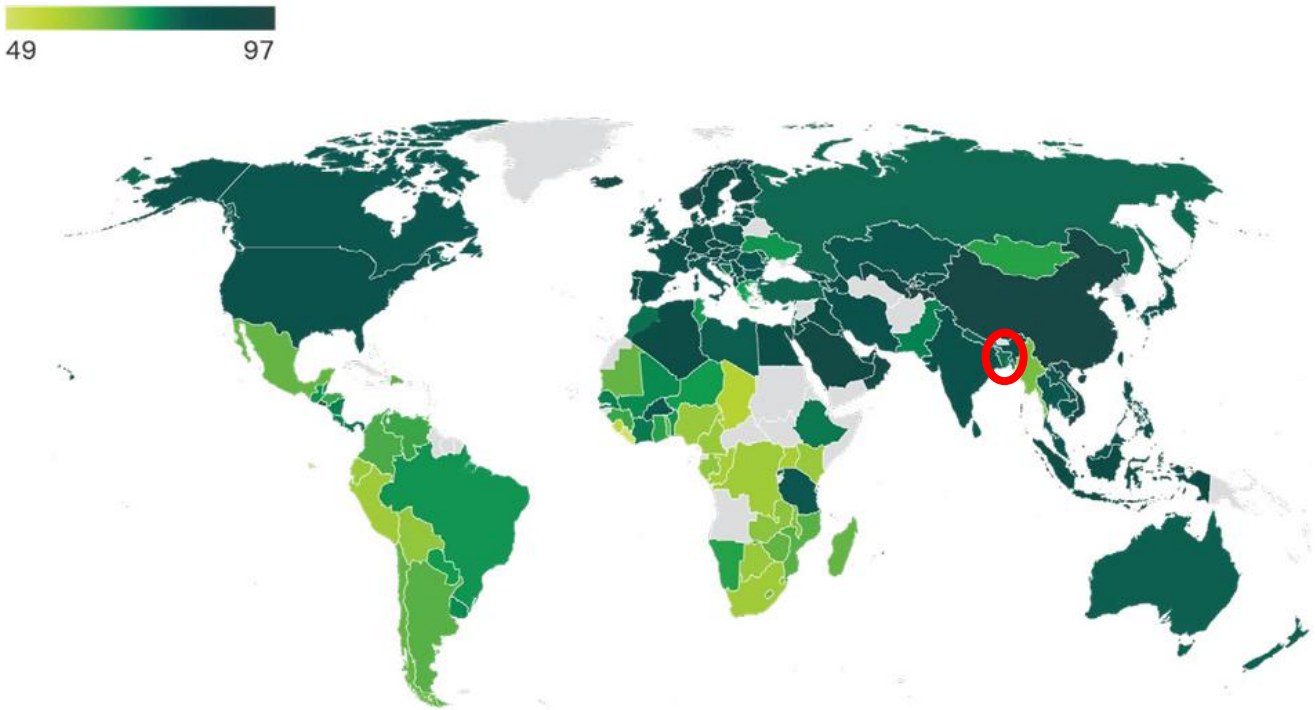
3．安定的な政治・外交

民主主義国（2024年政変で強化）
全方位外交
良好な治安

2026年のバングラデシュ

2月に総選挙・本格政権誕生、年内憲法改正
⇒**民主主義発展**（公正な選挙、権力分散化）、
11月にLDC卒業（延期？）、**経済回復**の年

世界安全報告2025年版における治安指数（ギャラップ社）



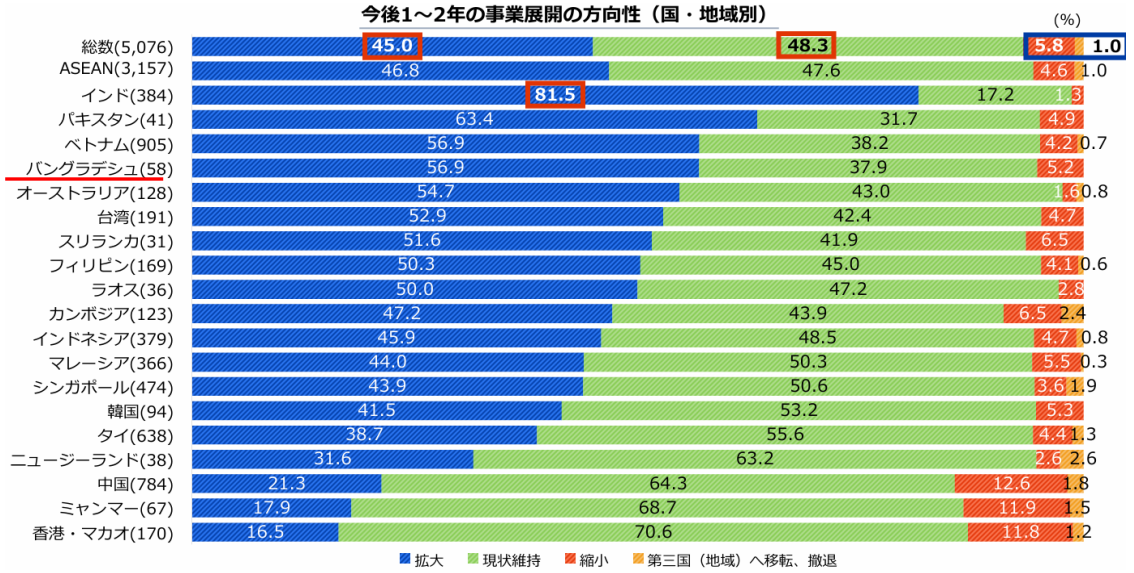
●バングラデシュの治安指数は78であり、アジア主要国と同レベル。
●一人で夜に歩けるとする人々の割合は74%。タイ、米、仏、インド等より高い。

バングラデシュの魅力

4．独立以来の日本との深い関係

- **独立直後、西側諸国ではいち早く承認**
- **ODA**（円借款トップ3、技術協力トップ5）
- **日本企業**の進出・投資増加
- 自由貿易（**EPA**）交渉（バングラデシュ初のEPA）
- 日バ**PPP**プラットフォーム（日本・韓国のみ）
- **在留人口**増加、**IT人材**（日本企業の関心高い）
- **大学連携**（大学の先生は日本留学経験者が多い）

アジア・オセアニア地域における日系企業の事業拡大意欲（JETRO2025年調査）



日バ関係を示す数字

項目	人数
日系企業拠点数 （**過去10年で2倍**） （南アジア第２位）	330 （2024年10月）
在留邦人数 （南アジア第２位）	1,037 （2025年10月）
在留バングラデシュ人 （**過去10年で4倍**）	40,045 （2025年6月）
留学生	12,876 （2025年6月）
大学院生 （南アジア第１位）	1,272 （2025年度）
在留資格「技術・人文知識・国際業務」 （**過去3年で2倍**）	7,927 （2025年6月）
在留資格「特定技能」 （**過去3年で7倍**）	569 （2025年6月）
在留資格「技能実習」 （**過去3年で7倍**）	1,973 （2025年6月）

（出典：海外在留邦人調査統計、海外進出日系企業拠点数調査、在留外国人統計、学校基本調査）

バングラデシュ JICAのODA協力特徴

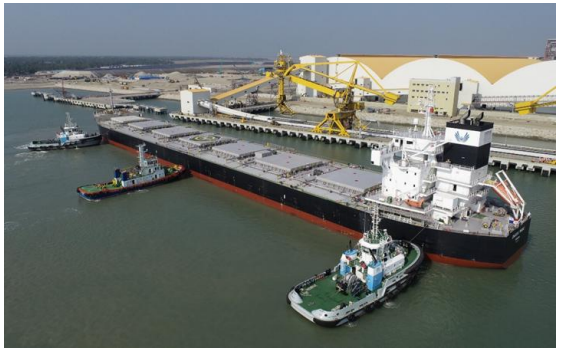
1. 近年は我が国ODAの最大の受取国の一つ、長年にわたって日本はバングラデシュにとって最大の開発協力パートナー国
2. 日本企業が関与する質の高い大規模なインフラプロジェクト
3. 産業の多角化と民間セクター開発の重点化
4. 長期にわたる保健、教育、農業、環境、電力、運輸等への協力（多くの専門家と協力隊、無償、円借款）
5. 改革への協力（投資環境、司法、公務員制度、地方自治、保健、公共投資管理、食品安全、ガス分野等）
6. 気候変動対応（エネルギー、海外投融資、災害リスク軽減等）
7. ホストコミュニティに焦点を当てたロヒンギャ避難民支援

バングラデシュ JICAのODA協力事例

- **経済の強靭性向上・エネルギー供給安定化のための緊急支援借款**：経済・財政安定化及びエネルギー供給の安定化、現地進出日本企業にも裨益
- **投資環境改善・産業多角化**：投資庁専門家、JETRO共催で投資セミナー開催、許認可一元化支援、産業人材育成等
- **バングラデシュ経済特区（BSEZ）**：JICAの総合的支援による世界水準の日本工業団地（住友商事運営）
- **マタバリ港**：バングラデシュ初の深海港建設中
- **モヘシュカリ総合開発**：マタバリ港周辺地域の総合計画を策定中
- **ダッカメトロ**：6号線は1日40万人利用、日本の技術、最も快適な公共交通、3路線を建設中

BSEZ（円借款・技術協力・海外投融資）

マタバリ港（円借款・技術協力）

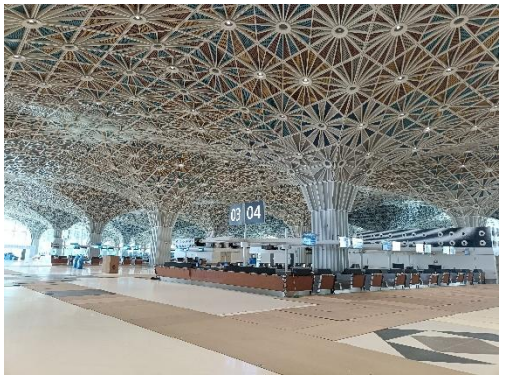


ダッカメトロ６号線（円借款・技術協力）

バングラデシュ JICAのODA協力事例

- **ダッカ国際空港第３ターミナル**：羽田空港第３ターミナルとほぼ同規模
- **保健医療**：看護師育成、生活習慣病対策、日本病院等
- **気候変動対策**：ハオール地域（北東部）を重視、河川計画策定、防災、緩和推進のためのエネルギー計画策定等
- **地方行政**：行政評価と改善、全ての中核都市と全ての郡を支援
- **都市環境**：廃棄物、上下水道、大気汚染
- **ロヒンギャ難民支援**：ホストコミュニティ支援（インフラ、生計向上）、担当政府機関強化、ボランティア派遣等

ダッカ空港第３ターミナル（円借款）



看護教育強化（技術協力）

廃棄物運搬車両（無償資金協力）

国内パートナーとの共創事例

キーワード	バングラデシュにおける共創事例
JETRO×情報発信	過去１年間にJETRO共催セミナー（オンライン、日本）を5回開催
企業×投資環境改善	日本企業・JICA専門家と共に投資環境改善・産業多角化の取組
企業×工業団地 ⇒製造業進出	バングラデシュ経済特区（BSEZ）（住友商事運営、世界水準の工業団地）への総合支援（9社進出決定、うち4社日本企業）
企業×IT人材 ⇒IT人材活用	B-JETプログラム（宮崎バングラデシュモデル）（約250名日本企業就職）、中堅以上技術者の育成（B-TopSE技術協力）
企業×JICA Biz等 ⇒進出・展開支援	【展開の事例】Kumon（教育）、ONODA（ガスメータ）、J Group（水産物加工）、ユーグレナ（農業）、丸久（さつまいも） スタディーツアー企画、提案歓迎（JICA Biz、Quest）
企業×資金協力 ⇒進出支援	円借款案件受注（鉄道、橋梁、保健医療、電力等）、無償案件受注、タカ建優遇融資（円借款）、海外投融資（民間事業融資・出資等、シップ日本病院）、日バPPPプラットフォーム（優先交渉権）
大学	科学技術協力（SATREPS）、留学生、連携講座、 技術協力への参画（看護、モヘシュカリ総合開発、橋梁管理等）
自治体	事務所長の行脚、教師海外派遣、技術協力への参画
NGO	草の根技術協力、国内における国際協力の活性化

バングラデシュJICA Biz代表事例

公示	調査・事業名	提案法人名
2011	緑豆生産の体制構築事業準備調査(BOPビジネス連携促進)	株式会社ユーグレナ(株式会社雪国まいたけ)
2012	ユーグレナを用いた母子保健事業案件化調査	株式会社ユーグレナ、株式会社三菱総合研究所 共同企業体
2014	ユーグレナクッキー事業準備調査(BOPビジネス連携促進)	株式会社ユーグレナ
2013	NGOとの連携による教育の質向上事業準備調査(BOPビジネス連携促進)	株式会社公文教育研究会、株式会社コーエイ総合研究所 共同企業体
2013	一般家庭向けプリペイドガスメーター普及促進事業	ONODA株式会社(旧:株式会社ヘリオス・ホールディングス)
2017	小規模農家の収入向上及びポストハーベストロス抑制のためのサツマイモ生産・加工品販売ビジネス(SDGsビジネス)調査	丸久株式会社
2018	農家の収入向上のためのモリンガ生産・加工品販売ビジネス(SDGsビジネス)調査	イチバンライフ株式会社、株式会社Sun Rise 共同企業体
2019	無焼成レンガ製造可能な無機質強化材及び手動式レンガ製造機普及に係る案件化調査	京浜蓄電池工業株式会社、株式会社エイケン 共同企業体
2022	効率的・衛生的な廃棄物圧縮貯留システムの普及・実証・ビジネス化事業	日本クリーンシステム株式会社
2021	日本式歯科技工技術による歯科医療の向上に係る案件化調査	株式会社メディナ
2022	貧困削減に資する、環境に配慮した蟹の人工孵化に係るビジネス化実証事業	株式会社ジャパン・デリカ
2024	リハビリテーション事業(サービス提供・教育提供)及び予防医学事業のニーズ確認調査	株式会社ジェネラス
2025	急性期リハビリ提供体制確立と現地リハビリ職に対する教育のビジネス化実証事業	株式会社ジェネラス
2025	廃棄物回収から見せる再資源化までを一体化した資源循環事業のニーズ確認調査	興亜商事株式会社
2025	熱分解技術を用いた持続可能な廃棄物処理・資源化ニーズ確認調査	GOMIソリューションズ株式会社
2025	環境クレジット創出プロジェクトに係るニーズ確認調査	エンヴィックス有限会社

バングラデシュ国　効率的・衛生的な廃棄物圧縮貯留システムの普及・実証・ビジネス化事業

日本クリーンシステム株式会社（大阪府大阪市）

対象国廃棄物分野における開発ニーズ（課題）

・都市ゴミ中間集積場（STS）の非効率な運用体制と過酷な労働環境
・STS建設に必要な用地取得が困難（土地不足・住民の反対）
・STSでのコンパクター車の待機時間が長く非効率
・悪臭及び汚水漏出による周辺住民・環境への悪影響
・ショッピングモール等民間施設のゴミ置き場の悪臭・ゴミの飛散

提案製品・技術

・省スペース化による収容能力向上・土地利用の最適化
・自動投入・排出によるSTS運用効率・作業環境の向上
・廃棄物を衛生的に密封貯留
・顧客・設置場所に合わせたカスタマイズ設計
・他社製品より高い耐久性・防臭・防音・防水性
・国内シェア6–7割。国内・海外で1,600台以上の納入実績

本事業の内容

- 契約期間：2024年7月～2026年12月
- 対象国・地域：バングラデシュ国（バ国）北ダッカ市
- 想定するカウンターパート機関：バ国北ダッカ市役所（DNCC）廃棄物管理局

事業概要：提案製品「J-DRUM」1台をバ国北ダッカ市のゴミ中間集積所（STS)に導入し、既存の手作業によるリキシャバンからのゴミの荷下しと、コンパクター車への積込み作業の自動化による効率的・衛生的なSTS運営体制と、STSの縮小化の可能性を実証する。ダッカ市及び他都市のSTSと民間施設への導入も含めた事業展開と、コストダウンのための現地生産体制も検討し、バ国の効率的・衛生的なゴミ管理体制の普及を目指す。

J-DRUM（英名）／ゴミック（和名）

開発ニーズ（課題）へのアプローチ方法（ビジネスモデル）

（対象国におけるビジネス戦略、対象顧客、収益構造等）
・ダッカ市（南・北）、及び他自治体が管轄するSTSへの導入（官需）
・ADB/JICA等ドナーによる機材供与を含むプロジェクトを通じた導入
・民間商業施設・集合住宅・ホテル・病院等への導入（民需）
・コストダウンのためのJ-DRUM及び付属部品（コンベア）の現地生産体制の構築
・導入先のニーズに応じた運用方法の提案、及び設置・メンテナンスまで含めたサービス提供

対象国に対し見込まれる成果（開発効果）

・STS等のゴミ集積作業員の労働環境改善
・自治体の廃棄物管理費・輸送費削減
・STS周辺及びショッピングモール等民間施設のゴミ置き場の衛生・周辺環境の改善
・バ国自治体が進めるSTSの普及計画促進へ貢献

2024年6月現在

バングラデシュ国　急性期リハビリ提供体制確立と現地リハビリ職に対する教育のビジネス化実証事業

株式会社ジェネラス（愛知県名古屋市）

対象国保健分野における開発ニーズ（課題）

- 脳卒中、心疾患、脳性麻痺等に対するリハビリサービスの整備不足および専門人材の能力不足
- シームレス体制による退院後の支援体制の未整備
- 予防医学に関する知見とサービスの未整備
- 地方部の医療インフラが未発達

提案製品・技術

- 現地に最適化した日本式リハビリテーションの導入
- 臨床実習や客観的臨床能力試験に基づく、実践的なリハビリテーション教育と関連職種の雇用創造
- シームレスに患者をつなぐリハビリマネージメント手法
- 疾病再発予防等の予防的リハビリに関する教育

調査概要

- 調査期間：2026年5月～2028年11月
- 対象国・地域：バングラデシュ国　ダッカ市及びチョットグラム市 他
- 調査概要：日本のリハビリを対象国向けに最適化し、持続的かつ高品質なサービスの提供を目指すために、既存サービスとの差別化要素や適正な価格設定の観点を調査する。対象国で不足している「患者中心のシームレス体制」の確立を目指し、包括的なサービス提供の実現可能性を検討する。シームレスな臨床現場を通じて実践的な臨床教育を行い、各回復期において専門人材が体系的にスキルを習得できる仕組みを整備し、人材育成につなげる。

ビジネスモデル

- 中核病院のリハビリ医療専門職人材の育成
- 急性期から回復期の各フェーズにおいて社会復帰を目指す患者向けのシームレスな支援体制の構築
- シームレスな臨床現場や自社開発の教材を通じた臨床教育の提供
- ダッカ市をモデルケースとして整備し、チョットグラム市等に同様のサービス体制を横展開する

対象国に対し見込まれる成果（開発インパクト）

- 病気や障がいを抱えていても社会復帰できる環境が整うことで、持続可能な社会づくりの促進
- 適切なリハビリ技術の普及と提供能力の拡大
- 患者が受けるリハビリのシームレス体制を構築
- 健康寿命の延伸
- 所得に対する医療費支出の削減
- 提供サービス関連職種の雇用創出
- 女性の就労機会およびリハビリサービスの利用拡大

2026年5月現在

バングラデシュ国 貧困削減に資する、環境に配慮した蟹の人工孵化に係るビジネス化実証事業

株式会社ジャパン・デリカ（兵庫県西宮市）

対象国農業分野における開発ニーズ（課題）

- バングラデシュは世界でも最貧民国に位置づけられる開発途上国で、所得格差が顕在している。特に沿岸地域では就労機会が少なく、雇用の創出による貧困削減が課題となっている。
- 乱獲の影響で10年後には蟹原料が枯渇することが予想されているところ、環境負荷の低い水産資源の管理・活用が求められている。

提案製品・技術

- 蟹の致死率を低減するための水温調整や製品品質を一定に保つための脱皮後の処理といった専門性を要する、蟹の養殖、処理技術。
- 蟹の鮮度を維持しながら、下処理を行い商品化する技術。
- 工場から港まで冷凍した蟹の品質を保ちながら輸送可能とするコールドチェーン技術。

調査概要

- 調査期間：2023年8月～2025年3月
- 対象国・地域：バングラデシュ人民共和国
- 調査概要：バングラデシュ国ですでに蟹の人工孵化事業を進めており、実験段階では成功しているところ、さらなる実証により人工孵化技術を確立し、商業ベースの確立を目指す。将来的には、他の養殖施設候補地にも展開し、養殖・加工事業の拡大を目指す。

ビジネスモデル

現地で蟹を孵化し、孵化施設から養殖農家へ原料（稚蟹）を販売する。養殖農家は、養殖した蟹を加工工場（現地グループ企業）へ販売し、さらに、加工工場で製品化された蟹を海外顧客へ輸出販売する。蟹の人工孵化を成功させることにより、現地の養殖農家、加工事業、輸出販売までのバリューチェーンを確立する。

対象国に対し見込まれる成果（開発インパクト）

- 孵化事業の確立と養殖事業の展開により、バングラデシュにおける多くの雇用創出を想定している。さらに将来的には蟹の養殖施設を沿岸都市に建設し、雇用者を20万人まで増やすことを当面の目標とし、貧困削減に貢献する。最終的には全国展開を目指す。
- 蟹の自然採取から孵化・養殖に切り替えることで、同国における蟹の乱獲による環境負荷の軽減に貢献する。

2024年10月現在

JICA Biz　利用企業からの一言

「貧困削減に資する、環境に配慮した蟹の人工孵化に係るビジネス化実証事業」

株式会社ジャパン・フード・サービス
国際事業部部長
松永　佳代子様

JICA主催ビジネススタディツアー参加企業の声

7. 参加企業の声

【開催報告】未来の市場はここにある！都市環境課題をビジネスに変える旅～バングラデシュ都市環境ビジネス・スタディツアー～ ｜ 事業について - JICA

（昨年開催のバングラデシュ都市環境ビジネス・スタディツアーより）

通常民間企業だけでは訪問できない場所を訪問でき、貴重なネットワーク構築の一助となった

今回の訪問を通じ、バングラデシュで事業展開を検討するための具体的な情報を得ることができた

実際に現場を見ることで、技術がどこに活用できるかをより明確に理解することができた

バングラデシュの人々の人柄や同国市場の可能性を肌で感じることができた

政府関係者や民間企業の方々と直接対話でき非常に有意義だった

独立行政法人 国際協力機構 | Japan International Cooperation Agency

なぜ、JICA Biz @バングラデシュ

1) 日本企業にとり、**ポテンシャル**があって、かつ、**とっつきやすい**国

2)ほぼ**あらゆる分野**で、**JICAの持つ知見・情報・人脈・ブランド**が活かせます

3)ビジネス化、その後の発展を、**熱意**を持って、**継続**的に、**幅広く**、共創

バングラデシュでお待ちしています！

バングラデシュ保健医療ビジネ・ススタディツアー2026より（Bashgari Community Clinic）